

岩谷産業サステナビリティボンド レポート

(岩谷産業株式会社 第 5 回、第 6 回無担保社債)

1. 資金充当状況レポート (2024 年 3 月末時点)

2024 年 1 月 25 日に発行した、岩谷産業株式会社第 5 回、第 6 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）による調達資金の充当状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

項目	金額
調達額（手取金）	9,928
資金充当額 （リファイナンスの割合（%））	4,460 (100)
未充当残高※	5,468

※ 未充当残高については、現金及び現金同等物にて運用しております。発行から 3 年程度の間
に充当を完了する予定です。

(単位：百万円)

適格事業	充当額合計	未充当額合計	割合
CO2 フリー水素サプライチェーン構築	4,030	5,468	42%
地域社会を支えるインフラ・サービスの提供	430	—	100%
合計	4,460	5,468	45%

2. インパクト・レポート (2024 年 3 月末時点)

適格事業による環境・社会への効果に関しては以下の通りです。

取り組み区分	目的	ICMA 事業カテゴリー	レポート
CO2 フリー水素 サプライチェーン 構築	グローバル CO2 フリー 水素サプライチェーン 商用化の推進	グリーン>環境配慮製 品・再生可能エネルギ ー・クリーン輸送 トランジション>水素	液化水素製造ライン：6 ライン (1 ライン=5t/日)
	水素の社会実装に向け た技術開発・市場導入	グリーン>クリーン輸 送	水素燃料電池船：1 隻 (2024 年 3 月末時点)
	変化に対応し、価値創 造を続ける人材の獲 得・育成	グリーン>グリーンビ ルディング、環境配慮 製品 トランジション>水素 エネルギーを担う人材 育成)	環境認証：CASBEE A ランク (2024 年 3 月末時点)

地域社会を支えるインフラ・サービスの提供	強靱な LP ガスサプライチェーンの維持及び災害対策強化	ソーシャル＞手頃な価格の基本的インフラ設備 トランジション＞LP ガス	アウトプット： 「事業：LP ガスの安定供給体制の構築」を参照 アウトカム： ・ LP ガス供給量： 1,526 千 t (2023 年度) ・ 国内供給世帯数（直売顧客数）： 111 万世帯（2024 年 3 月末時点） ・ 自然災害対応済みの基地数： 62 ヶ所（2024 年 3 月末時点）
----------------------	------------------------------	--	--

事業の概要

取り組み区分	目的	ICMA 事業カテゴリー
CO2 フリー水素サプライチェーン構築	グローバル CO2 フリー水素サプライチェーン商用化の推進	グリーン＞環境配慮製品・再生可能エネルギー・クリーン輸送 トランジション＞水素

事業：豪州クイーンズランド州 CQ-H2 プロジェクト

事業概要：豪州クイーンズランド州グラッドストン地区において再生可能エネルギー由来のグリーン水素を大規模に製造し、液化して日本へ輸出及び、同地区のアンモニア合成施設へ供給（一部はオーストラリア国内で地消）するプロジェクト（CQ-H2 プロジェクト：Central Queensland Hydrogen Project）です。長期に亘り安定的かつ安価なグリーン水素の製造及び供給を行うことを目指しています。

取り組み区分	目的	ICMA 事業カテゴリー
CO2 フリー水素サプライチェーン構築	水素の社会実装に向けた技術開発・市場導入	グリーン＞クリーン輸送

事業：水素燃料電池船の開発

事業概要：2025 年開催の大阪・関西万博での商用化運転に向け、当社が船舶建造・運航および船舶用水素ステーションの建設を担っているプロジェクトです。関西電力(株)、東京海洋大学、(株)名村造船所との NEDO の助成事業として採択されています。

■水素燃料電池船の概要

サイズ : 全長 30m × 全幅 8m
総トン数 : 約 120 トン
定員 : 150 名
船速 : 10 ノット（約 20km/時）

取り組み区分	目的	ICMA 事業カテゴリー
CO2 フリー水素サプライチェーン構築	変化に対応し、価値創造を続ける人材の獲得・育成	グリーン>グリーンビルディング、環境配慮製品 トランジション>水素エネルギーを担う人材育成)

事業：水素エネルギーの発信拠点となる新研修所

施設の概要：CASBEE 神戸（建築物の環境性能評価を示す指標）A ランクを取得しております。さらに、環境に配慮したエネルギー源として、純水素型燃料電池や J-クレジットを活用したカーボンオフセットな LP ガス、太陽光発電などを導入予定です。将来的には、自社で調達したグリーン水素やグリーン LP ガスなども活用し、二酸化炭素を排出しないカーボンニュートラルな研修所を目指すものです。同研修所を水素の利活用を通じ脱炭素社会の実現に向けた発信拠点とするとともに、水素エネルギー事業の推進に資する多様な人材の育成を目指します。

■ 新研修所概要

所在地：神戸市中央区港島南町 4 丁目 3 番 1、7 丁目 2 番 1

敷地面積：10,065.80 平方メートル

完成予定：2024 年 10 月頃

取り組み区分	目的	ICMA 事業カテゴリー
地域社会を支えるインフラ・サービスの提供	強靱な LP ガスサプライチェーンの維持及び災害対策強化	ソーシャル>手頃な価格の基本的インフラ設備 トランジション>LP ガス

事業：LP ガスの安定供給体制の構築

LP ガス安定供給体制の概要：LP ガスのリーディングカンパニーとして、全国で輸入基地 5 ヶ所、充填基地 108 ヶ所、配送拠点 135 ヶ所と業界 No.1 の供給網を有しており、全国のお客様に家庭用・業務用・工業用など幅広い分野で、きめ細やかなサービスを提供しています。

また、LP ガス充填所の耐震性を高めた「LPG 基幹センター」を全国で 62 ヶ所整備しており、LP ガスの安定供給体制をより強固なものにしています。

引き続き LP ガスのトップサプライヤーとして、安定供給体制の強化や災害対策の普及に努め、地域の安全・安心に貢献していきます。